

- 問1 アメリカ合衆国の人口構成の変化とその背景について説明したものと、最も適切なものはどれですか。近年の統計では、メキシコが最大の移民送り出し国となっており、それ以外にもアジア諸国やカリブ海諸国からの流入が目立っています。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. メキシコや中南米、さらにはアジア系移民の増加により、国内でスペイン語が広く使われるなど、多様な文化が共存する社会となっている。
2. かつての奴隷貿易によるアフリカ系の人々の流入が現在の人口増加の主因であり、移民による構成の変化は限定的である。
3. 北方の隣国であるカナダからの労働者が製造業の現場を支えており、北米自由貿易圏の形成を背景に人口移動が固定化されている。
4. 移民のほとんどがヨーロッパ出身者で占められていた19世紀以前の状態に戻りつつあり、宗教や言語の多様性は失われつつある。
- 問2 アメリカ合衆国の広大な土地利用に関する記述として正しいものを選択してください。アメリカ合衆国の国土面積は約983万平方キロメートルにおよびますが、そのうち耕地や牧場・牧草地を合わせた農用地が占める割合はどの程度ですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 国土全体の4分の3以上を占める
2. 国土全体の3分の1以上（約41％）に達する
3. 国土全体の約25％程度にとどまる
4. 国土全体の約10％に満たない
- 問3 北アメリカ大陸の都市において、8月の平均気温と1月の平均気温の差が15度以下と小さく、さらに年降水量が500ミリメートル未満という乾燥したデータを示す都市として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. アンカレジ
2. ニューヨーク
3. ロサンゼルス
4. シカゴ
- 問4 アメリカ合衆国南部の産業発展の背景には、自然環境や社会的な要因が深く関わっています。この地域の産業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 白豪主義による人種隔離政策を廃止したことで、世界中から高度な技術を持つ技術者が集まった。
2. 中国のような経済特区を設けることで、税金を免除された外国企業が独占的に開発を行った。
3. ハリケーンなどの自然災害のリスクはあるが、安価な労働力や広大な土地を求めて先端技術産業が進出した。
4. 国際分業を避けるために、国内ですべての原材料を供給できる重工業地帯を南部に建設した。
- 問5 北アメリカ大陸の地形について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。北アメリカ西部に位置し、環太平洋造山帯の一部をなす険しい山脈と、その東側に広がる地形の關係に着目して選んでください。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 大陸の東側にロッキー山脈があり、その西側に沿岸部の険しい山地が続いている。
2. 大陸の西側にアパラチア山脈があり、その東側に放牧に適した乾燥した草原が広がっている。
3. 大陸の中央部にアンデス山脈があり、その周辺に世界最大の熱帯雨林が広がっている。
4. 大陸の西側にロッキー山脈があり、その東側にグレートプレーンズやプレーリーなどの広大な平原・草原が広がっている。
- 問6 北アメリカ大陸に位置するある国は、広大な国土を持ちながら人口密度が1平方キロメートルあたり約18人と非常に低く、1人あたりの国内総生産（GDP）が約43,000ドルに達する経済水準の高い先進国です。この条件に当てはまる国はどこですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. インド
2. エジプト
3. カナダ
4. 中国
- 問7 2017年の統計において、世界的小麦生産量の割合は、中国が17.4％、インドが12.8％、ロシアが11.1％となっています。これらに次いで世界全体の約6.1％を生産し、北アメリカ大陸に位置している国家として正しいものを選択肢から選びなさい。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
1. ブラジル
2. カナダ
3. アメリカ合衆国
4. オーストラリア
- 問8 アメリカ合衆国の西経100度付近に広がるグレートプレーンズなどの半乾燥地域で見られる、地下水を汲み上げ、長い散水アームを自動で回転させて円形状に水をまく大規模なかんがい農業の名称を選んでください。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 二毛作
2. ブランテーション農業
3. テラス農業（棚田）
4. センターピボット方式
- 問9 ある国の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり約4人と極めて低く、1人あたりの国内総生産（GDP）が約4万2000ドルと高い水準にあり、さらに小麦の生産量が年間3000万トンを超える世界有数の農業国でもある国はどこか、次の中から選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. ブラジル
2. インド
3. カナダ
4. ナイジェリア
- 問10 1970年代以降、アメリカ合衆国の北東部から南部・西部の「サンベルト」へと、多くの企業や人口が移動しました。この背景にある、先端技術産業がサンベルトで発展した理由として適切なものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 大西洋を挟んだヨーロッパ諸国との貿易に、地理的に最も有利な位置であったため。
2. 原料となる鉄鉱石や石炭が豊富で、巨大な製鉄所が古くから建設されていたため。
3. 安価で広大な土地や労働力が得やすく、税制上の優遇措置もあったため。
4. 冬の寒さが厳しいため、精密機械を冷却するのに適した気候条件が整っていたため。
- 問11 アメリカ合衆国のとうもろこし輸出において、輸送手段別の割合を見ると運搬船（バージ）が55％を占め、輸出積み出し場所の約6割がミシシッピ川の河口にある港に集中しています。このように、内陸部の生産地から河口まで水上輸送が多用される理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 広大な内陸部から河口の港まで、一度に大量の作物を低コストで効率的に運搬できるから。
2. ミシシッピ川の水流を利用することで、燃料を一切使わずに二酸化炭素の排出を完全に抑えられるから。
3. トラック輸送に比べて、内陸部から太平洋側の港へ最短距離で荷物を届けることができるから。
4. 内陸部から大西洋側の港まで、鉄道よりも高速で作物を輸送できるから。
- 問12 北アメリカのサンフランシスコ周辺の地域について、その気候条件や産業的背景を説明した文として正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. スノーベルトと呼ばれる地域に位置しており、冬季は積雪が多く非常に寒冷である。五大湖周辺の鉄鉱石と石炭を利用した鉄鋼業が伝統的な主要産業となっている。
2. サンベルトの北限付近に位置しており、夏季は寒流の影響で気温があまり上がらず、乾燥する地中海性気候である。1950年代から半導体産業が興り、現在は世界中から研究者が集まっている。
3. 年間を通じて降水量が1000mmを超える温暖な地域で、温暖湿潤気候に分類される。19世紀から続く宇宙開発の拠点が集中しており、航空宇宙産業が最も盛んである。
4. 内陸部に位置し、海からの湿った空気が遮断されるため一年中雨が降らない砂漠気候である。豊富な日照時間を活かした太陽光発電ビジネスが最大の産業となっている。
- 問13 ある統計において、世界の州ごとの環境指標を比較したところ、一人あたりの二酸化炭素排出量が約8.98tと突出して高い値を示している州がありました。この州に該当するものを選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ州
2. アフリカ州
3. オセアニア州
4. 北アメリカ州

答え合わせ・解説

問1	答え 1 メキシコや中南米、さらにはアジア系移民の増加により、国内でスペイン語が広く使われるなど、多様な文化が共存する社会となっている。	アメリカ合衆国では、1960年代の移民法改正以降、ヨーロッパ以外からの移民が急増しました。特にメキシコを中心とした中南米からの移民（ヒスパニック）や、経済成長を背景としたアジア系移民の流入が続いています。これにより、看板や放送にスペイン語が併記されるなど、社会の多層化が進んでいるのが現代のアメリカの特徴です。
問2	答え 2 国土全体の3分の1以上（約41％）に達する	アメリカ合衆国は世界有数の広大な国土を持ち、その約41%にあたる約400万平方キロメートル以上が農用地として利用されています。この農用地には、トウモロコシや小麦などを栽培する広大な耕地だけでなく、乾燥した西部などで見られる大規模な放牧のための牧場や牧草地も含まれます。広大な土地を大型機械で効率よく管理する、大規模な商業的農業が展開されていることが背景にあります。
問3	答え 3 ロサンゼルス	アメリカ合衆国西海岸のロサンゼルスは、乾燥した気候と海の影響による小さな気温差が大きな特徴です。これに対し、東海岸のニューヨークや中西部のシカゴは夏と冬の気温差がより大きく、降水量もロサンゼルスより多くなります。また、アラスカ州のアンカレジはさらに北方に位置するため、気温の年較差や平均気温そのものがロサンゼルスとは大きく異なります。統計データにおいて、降水量の少なさと気温差の小ささが両立する点はロサンゼルス进行を特定する重要な指標となります。
問4	答え 3 ハリケーンなどの自然災害のリスクはあるが、安価な労働力や広大な土地を求めて先端技術産業が進出した。	アメリカ南部はメキシコ湾沿岸などでハリケーンの被害を受けやすいという自然環境上の課題がありますが、冬の暖かさや低い地価、メキシコなどからの移民による豊富な労働力、さらに労働組合の力が弱く賃金が比較的抑制されていたことなどが企業にとってメリットとなり、先端技術産業の進出が進みました。これにより、以前は綿花栽培などの農業が中心だった地域が、高度な工業地帯へと変貌しました。
問5	答え 4 大陸の西側にロッキー山脈があり、その東側にグレートプレーンズやプレーリーなどの広大な平原・草原が広がっている。	北アメリカ大陸の西部には、新期造山帯に属する高く険しいロッキー山脈が南北に走っています。この山脈の東側には、比較的乾燥しており放牧が盛んなグレートプレーンズや、やや湿潤で小麦の栽培などが盛んなプレーリーといった広大な平原・草原地帯が続いています。東部にあるのは古期造山帯のなだらかなアパラチア山脈、南アメリカ大陸にあるのはアンデス山脈です。
問6	答え 3 カナダ	北アメリカに位置するカナダは、ロシアに次いで世界で2番目に広い国土面積を持ちますが、北部の寒冷な気候などの影響もあり、人口は国土の広さに対して少なくなっています。そのため、人口密度が非常に低いことが統計上の大きな特徴です。一方で、豊かな天然資源や高度な工業化を背景に、1人あたりの国内総生産（GDP）は世界でも上位に位置する先進国としての側面を持っています。
問7	答え 3 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、広大な土地と高度な機械化を背景に、世界でも有数の小麦生産量を誇っています。中国やインドは人口が多く国内での消費量も多いため生産量が上位に位置しますが、アメリカ合衆国はロシアとともに主要な小麦輸出国の役割も果たしています。
問8	答え 4 センターピット方式	アメリカ合衆国の中央部に位置するグレートプレーンズは、年間降水量が500mm程度と少なく、農作物の栽培には人工的な水供給（かんがい）が不可欠です。ここではオガララ帯水層などの地下水を汲み上げ、半径数百メートルにも及ぶ長い散水機を回転させることで、効率的にトウモロコシや小麦を栽培しています。上空から見ると、巨大な円形の畑が並んで見えるのが特徴です。
問9	答え 3 カナダ	北アメリカ大陸の北部に位置するこの国は、ロシアに次ぐ世界第2位の広大な面積を持ちますが、寒冷な気候などの影響もあり人口密度は非常に低くなっています。一方で、広大な平原を利用した大規模な機械化農業が発達しており、少ない労働力で大量の小麦の生産量を実現しています。また、先進工業国として1人あたりの国内総生産も高いのが特徴です。
問10	答え 3 安価で広大な土地や労働力が得やすく、税制上の優遇措置もあったため。	サンベルトが発展した背景には、広大な土地と安価な労働力、さらに企業を誘致するための積極的な優遇政策があります。また、温暖な気候（サニーな気候）が冷暖房設備の普及とともに、労働者にとっても生活しやすい環境として選ばれたことも、産業と人口の移動を後押ししました。
問11	答え 1 広大な内陸部から河口の港まで、一度に大量の作物を低コストで効率的に運搬できるから。	アメリカ合衆国の内陸部（中央平原など）で生産された大量のとうもろこしは、国際市場へ輸出するために輸送コストを抑える必要があります。ミシシッピ川は広大な平原を流れており水上輸送に適しているため、運搬船（バージ）を活用することで、陸上輸送よりも一度に多くの量を効率よく河口まで運ぶことができます。その結果、輸出拠点がメキシコ湾に面したミシシッピ川河口付近に集中しています。
問12	答え 2 サンベルトの北限付近に位置しており、夏季は寒流の影響で気温があまり上がらず、乾燥する地中海性気候である。1950年代から半導体産業が興り、現在は世界中から研究者が集まっている。	サンフランシスコ周辺は地中海性気候に属し、夏季の乾燥と冷涼な気温が特徴です。この気候はカリフォルニア海流という寒流の影響を強く受けています。また、北緯37度以南の「サンベルト」に含まれるこの地域は、シリコンバレーを中心に、半導体から始まった情報通信技術分野の発展により、世界的な経済・研究の拠点となっています。
問13	答え 4 北アメリカ州	世界の州ごとの指標を比較した際、一人あたりの二酸化炭素排出量が約8.98tと極めて高い値を示すのは北アメリカ州です。資源やエネルギーの大量消費が背景にあります。